

今井眞正

IMAI, Makimasa

土から生まれる命の輝き



1 2

下蒲刈島の白崎園にそびえ立つ巨大モニュメント《生・土・火・知・空・水》。直径約15mの台座は“地球”を、高さ約8mの二本の立体は“生”をイメージして、下蒲刈島と本州が安芸灘大橋でつながった記念に作られたものです。二本の立体は物事の関係性を意味し、影響しあい、共に発展していく“つながり”の重要性を表現しています。

作者は陶芸家、今井眞正。すべて「焼き物」で構成されており、その原料には下蒲刈の土、本州の土、下蒲刈島と古より縁のある朝鮮半島の土が使われ、三位一体となっています。釉薬にも島のミカンの木を灰にしたものが一部使われ、歴史ある風光明媚な島の新たな象徴として、愛され続けています。

今井氏は、陶彫作家として知られ、愛らしく、ぬくもり溢れる動物や伝統ある神聖な生き物などを多く手掛けています。この土から生み出される形は、広島県竹原市にある瀬戸内海を望む「豊山窯」で焼かれます。土、火、風といった自然と人との共生、協同により、大地には窯の鼓動が鳴り響き、作品に命が吹き込まれていきます。さらにその後、色絵を施すことで命に輝きが増していくのです。

今にも動き出し、物語の世界へ誘うような焼き物の生き物たちとの出会いをお楽しみください。

陶芸家・今井眞正 (いまい まきまさ)



1961 文化勲章受章者・今井政之氏の長男として京都に生まれる。

1984 東京藝術大学久米桂一郎賞受賞

1988 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。

2002 京都市芸術新人賞受賞

2022 京都芸術文化協会賞受賞

これまでに国内外で多く作品を発表し続けている。現在、京都工芸美術作家協会副理事長・(一財)京都陶磁器協会副理事長・広島市立大学芸術学部非常勤講師ほか。



6

1. 夢見る子鹿 2013年 / 2. 静視する若鹿 2022年 / 3. 蟹形花入 2013年 /
4. 富々拍子 2023年 / 5. 頂に立つリス 2021年 /
6. 友に伝えたい気持ち - 湖猫 (ミーアキャット) - 2023年



4



3



5

関連イベント

■ 開会式

・日時: **10月26日** (木)
10時から (15分程度)

・会場: 当館1階
※開会式へご参加の方は入館料が無料となります。

■ アーティストトーク

・トーク: 今井眞正 氏
・日時: **10月26日** (木)
開会式終了後10時25分頃～

・会場: 当館展示室
・参加費: 無料 (ただし、入館料が必要です)

■ ワークショップ

「土で生き物をつくってみよう！」

・講師: 今井眞正 氏
・日時: **11月26日** (日)
13時～16時

・場所: 下蒲刈市民センター2階
・参加費: 500円

・定員: 15名【先着順】

・申込方法: 事前申込
参加希望者氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号、またはメールアドレス [昼間に連絡が取れるもの])をご明記の上、下記のメールまたはお電話、FAXでお申し込みください。

事前申込



※作品はイメージです。

【mail】 honjin@shimokamagari.jp

【TEL】 0823-70-8088

【FAX】 0823-70-8044

散策マップ



(駐車場3台)
軽自動車用。普通車の方は下蒲刈市民センターの駐車場をご利用ください。

🚗 広島市内から車で約60分

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋(有料)を渡った最初の島が下蒲刈島です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用ください。

指定施設にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈！
詳しくは、くれ観光情報プラザ TEL:0823-23-7845 まで

🚆 + 🚌 呉市内から電車・バス利用の場合

JR 呉線で広駅を下車。広駅前の道路を渡ったところにある「広駅前」バス停から瀬戸内産交運の「宮農センター・沖友天満宮行き」バスに乗車。「下蒲刈中学校」または「三之瀬」で下車。バスは上下線とも毎時1本運行しています。

[バスに関するお問い合わせ: 瀬戸内産交 (株) TEL 0823-70-7051]

三之瀬御本陣芸術文化館



アクセス方法



バス時刻表



Instagram



Facebook



QRコードからアクセスできます！

